

第 5 回南多摩地域薬薬連携協議会議事録

(更新日 2002.11.19)

日時：平成 14 年 11 月 15 日 18:30-20:30

場所：八王子薬剤センター駅前薬局 2 F セミナー室

出席者：病薬委員；明石貴雄、阿部宏子、阪本康典、村田和也、

都薬委員；下平秀夫、戸塚淳逸、堀博昭、茂木徹、山田哲道、山田政
人

連絡協議：等淳一郎

合計 11 名

欠席者：斎藤伸介、根岸務、前田良廣、吉尾隆

(敬称略五十音順)

報告事項決定事項

- ・薬と健康の週間の実施状況について
山田(哲)、山田(政)
- ・期限切れ処方せんの疑義紹介について
質問-戸塚 回答-明石、阪本--原則として無効な処方せんである
- ・クオリティー・ファーマシー2002.06 への多摩連携記事掲載について

協議・決定事項

- ・本会議出席者の交通費は第一回に遡って 1 名 3,000 円とする。
- ・次回第 6 回南多摩地域薬薬連携協議会は平成 15 年 2 月 21 日(金)18:30-
- ・下記ワーキンググループに分かれてグループ討議を 15 分行った。
- ・次回の内容は、グループ討議と全体の中間報告会とする。
- ・次回議事録担当は斎藤、次々回議事録担当は阿部とする。

グループワーキングによって得られた、今後の方針

(方向修正もありえる)

1. 適正な処方せんと正確な調剤

阪本康典、斉藤伸介、茂木徹、山田哲道、吉尾隆(欠)

A 適正な処方せん--不備のある処方せんのコピーを薬局で抽出し、皆で解析(山田哲)

B 正確な調剤--ヒヤリハット事例資料を提示(阪本)

- ・賦形が違おうと外観や味も違おうという、調剤内規の問題も指摘された。

2. 患者情報の共有化「お薬手帳等の利用」

根岸務(欠)、堀博昭、前田良寛、山田政人、吉尾隆(欠)

- ・副作用情報の共有化---患者に副作用情報をどの程度まで提供するのか、病院と薬局が協議し、最低限のフォーマットを提案する。

- ・お薬手帳は、医師にも利用できるよう、チャート式などの新しいフォーマットを提案する。

- ・お薬手帳の患者利用促進の為の啓蒙方法を考える。

3. 研修・教育

村田和也(リーダー)、阿部宏子、下平秀夫、

- ・病薬では、多摩地区として臨床薬学研究会を八王子東急スクエアの都市センターで行っている。この回数を増やし、病薬・都薬の共同開催としたい。

- ・相互のふれあいの観点から、プレアボイドなど1症例ずつの症例解析を行う。

オブザーバー

明石貴雄、小坂一郎(欠)、戸塚淳逸、等淳一郎、村田正弘(欠)、

敬称略五十音順

記録者：下平